

リスクアセスメント実施一覧表（実施記載例）（荷役作業 2）

リスクアセスメント対象職場	1～3の実施担当者の実施日	4～6の実施担当者の実施日	7～8の実施担当者の実施日
移動式クレーンを使用した トラック荷積み・荷降ろし作業	〇〇 一朗 H18年〇月I日	△△ 二郎 H18年〇月I日	□□ 昭次 H18年〇月I日
支店長	課長	担当	
⑤	⑤	⑤	⑤

1. 作業名 (機械/設備)	2. 危険性又は有害性と 発生のおそれのある災害(*)	3. 既存の災害防止対策		4. リスクの見積り		5. リスク低減対策案		6. 措置後のリスク の見積り		7. 対応措置		8. 備考
		重篤度	発生可能性	重篤度	発生可能性	重篤度	発生可能性	重篤度	発生可能性	対策 実施日	次年度検討事項	
重重量玉掛け 作業	定格荷重を超えた玉掛けを行った為、クレーンが転倒し、作業者がクレーンの下敷きになる。	×	△	×	Ⅲ	過負荷防止装置を切れないようにする。	△	×	Ⅱ	H19 *//*	過重警報装置を取り付ける。	
	軟弱な地盤にクレーンを設置した為、クレーンが転倒し、作業者がクレーンの下敷きになる。	×	×	×	Ⅲ	鉄板を敷く。	×	○	Ⅰ	H19 *//*		
	クレーン運転室に上る時、足を滑らせて転落する危険がある。	×	△	×	Ⅲ	梯子への滑り止めテープを貼付する。	△	×	Ⅱ	H19 *//*		
搬入トラックに対する 積み込み荷降ろし作業	荷台上で吊り荷が振れて、積荷の間に挟まれ転倒の危険がある。	×	△	×	Ⅲ	地切り時の一旦停止を徹底する。	△	△	Ⅰ	H19 *//*		
	昇降設備を使わずに荷台上に昇降するとき、足を踏み外したり、滑らせたりして、転倒する危険がある。	×	△	×	Ⅲ	運転席横のハンゴを使用する。	△	×	Ⅱ	H19 *//*		
	荷台上でシート掛け作業中、身体のパラバランスを崩して転落する危険がある。	×	○	×	Ⅱ	荷張り作業標準を作成し、作業を荷台下で行う。	×	×	Ⅱ	H19 *//*		
	クレーンで製品を吊り上げ旋回中、製品がトラック上の作業者に接触し、荷台から転落する。	×	△	×	Ⅲ	荷の下に入らないように教育する。	△	×	Ⅱ	H19 *//*		
	吊り荷の固縛不備のため、吊り荷の一部が抜け落ち、作業者に衝突する。	×	△	×	Ⅲ	玉掛け資格者に作業させる。	△	×	Ⅱ	H19 *//*		
	クレーン旋回範囲への、立入り禁止措置をしていなかったため、カウンタータウエイトの旋回時に歩行者に衝突する。	×	△	×	Ⅲ	クレーンに近づかないよう に教育していた。	△	×	Ⅱ	H19 *//*		

凡例：●災害の重篤度 X＝致命的・重大 △＝中程度 ○＝軽度 ●発生可能性 X＝顕著・可能性が高いか比較的高い △＝時々・可能性がある ○＝ほとんどない・可能性がほとんどない
●優先度 Ⅲ＝直ちに解決すべき又は重大なリスクがある。 Ⅱ＝速やかにリスク低減措置を講ずる必要のあるリスクがある。 Ⅰ＝必要に応じてリスク低減措置を実施すべきリスクがある。
※（災害に至る過程として「～なので、～して」「～になる」と記述します）